



発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会  
2019年3月発行

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号(BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)  
TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416 (ボランティア情報センター直通)  
URL: <http://shakyo-hiroshima.jp/> E-mail: [voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp)

## 福祉サービス利用援助センター「かけはし」 生活支援員の活動紹介

福祉サービス利用援助事業「かけはし」は、認知症や精神、知的の障害等により、判断能力が不十分なため、日常生活を営む上で不安のある方に代わって通帳・印鑑を管理したり、預貯金の出入れや生活費のお届け、必要な支払いの代行を行うことで、利用者の生活がこれまでどおり続いていくように支援をしています。

今回は、「生活支援員」の役割・活動内容を紹介します。

生活支援員は、普段は、それぞれのお仕事や、地域のお世話などをしている人たちです。「かけはし」の支援の時には、広島市社協の職員身分で利用者を訪問してもらいます。契約に基づく支援計画に沿って、預かった通帳・印鑑で預貯金の払出しや生活費のお届け、必要な支払い等を、責任を持って行い、支援の際に少し時間を取って利用者とお話などすることで、利用者が

問題なく日々の生活を送ってられるか、その様子を確認しています。

生活支援員は、利用者にとって身近な「地域での生活者」的性格を帯びて訪問してくれる人となっております。周りにはなかなか言えない困りごと、生活支援員には話せる場合があるようです。

生活支援員が利用者の思いを聞いたり、ちょっとした変化などを感じ取ったりした場合は、報告を受けた市社協（専門員）や区社協の担当職員がしかるべき対応をします。時には、危機的な状況の回避につながったこともあります。

このように、生活支援員は、利用者にとってなくてはならない存在です。

## 平成30年度 第3回生活支援員研修会の開催



去る平成31年1月29日（火）、生活支援員を対象とした第3回生活支援員研修会を開催しました。

この度の研修では、福祉の基礎知識の一つとして、地域包括支援センターの役割をテーマに選びました。講師として広島市庚午地域包括支援センターの職員をお招きし、「住み慣れた地域で安心して暮らすために～地域包括支援センターの取組を通して～」という内容で、講義をしていただきました。

また講義の後には、小グループに分かれて、日頃の生活支援員活動に関する情報・意見交換を行いました。



### ～生活支援員研修 参加者の声～

- 「地域包括支援センター」がどのような事業をしていて、どのような困りごとに対応できるのか、それを理解して地域の中でかかわることが大切だと思いました。
- 傾聴に心掛けていきたいと思います。
- 生活支援員のスキルアップ研修を希望します。

本年度はこのほかに、「知的障がい等の方の『お金』をめぐる課題と支援」「消費者被害にあわないために」をテーマに、2回の研修会を行っています。



この記事に関する問い合わせ先▶ 生活支援課 福祉サービス利用援助センター TEL 082-264-6406 FAX 082-264-6437

# 広島市くらしサポートセンター

相談無料

生活保護を受給するまでではないものの、様々な理由により経済的な面で生活に困っている方の相談窓口です。相談の内容に応じて、制度の利用や他機関との調整など、課題解決のために一緒に考えていきます。(対象：広島市在住で、現在生活保護を受給されていない方)

## 【相談内容の一例】

相談例  
1

単身世帯の70歳代男性。会社が倒産して以降、収入が年金のみとなり切り詰めた生活を送っていました。ハローワークへ通っていましたが、年齢面から仕事が見つからず、生活費が不足する部分は、食費を削ったり食事を抜いたりしていました。



仕事に就くことを目指して、求職活動の支援を行いました。希望する職業の求人を中心に探し、就職先を決めることができました。就職後、職場での人間関係も良好で、年金に加え就労収入も得ることができ、生活に不安なく過ごすことができました。

相談例  
2

60歳代女性。20歳代の孫と2人世帯で、家族関係が良くない状況でした。就労収入だけでは税金や家賃の支払いが難しく多額の滞納がありました。滞納額が多く、どのように支払いをしたらよいか分からない状況がありました。



家計管理の見直しのため、家賃や税金の支払い方法の見直しを行いました。弁護士にも相談し、家賃滞納については返済が難しいため、自己破産の手続きを行いました。家賃が安い物件と一緒に探し、転居費用を貯める方法について考えました。滞納している税金についても計画的な返済を行っていくことになりました。手続きを進めていく中で、少しずつ家族で協力していく場面もあり、家族関係を修復するきっかけとなりました。

【相談日時】 平日 午前8時30分～午後5時15分（土・日・祝日、8/6、12/29～1/3は除く）

【相談方法】 面談（来所、訪問）、電話、E-mail、FAX

広島市社会福祉協議会ホームページより、メールフォームが利用できます。



名 称	所在地・電話
中区くらしサポートセンター	〒730-0051 中区大手町 4-1-1 大手町平和ビル5階（中区社会福祉協議会内） ☎082-545-8388
東区くらしサポートセンター	〒732-8510 東区東蟹屋町 9-34 東区総合福祉センター4階（東区社会福祉協議会内） ☎082-568-6887
南区くらしサポートセンター	〒734-8523 南区皆実町 1-4-46 南区役所別館3階（南区社会福祉協議会内） ☎082-250-5677
西区くらしサポートセンター	〒733-8535 西区福島町 2-24-1 西区地域福祉センター4階（西区社会福祉協議会内） ☎082-235-3566
安佐南区くらしサポートセンター	〒731-0194 安佐南区中須 1-38-13 安佐南区総合福祉センター5階（安佐南区社会福祉協議会内） ☎082-831-1209
安佐北区くらしサポートセンター	〒731-0221 安佐北区可部 3-19-22 安佐北区総合福祉センター4階（安佐北区社会福祉協議会内） ☎082-815-1124
安芸区くらしサポートセンター	〒736-8555 安芸区船越南 3-2-16 安芸区総合福祉センター3階（安芸区社会福祉協議会内） ☎082-821-5662
佐伯区くらしサポートセンター	〒731-5135 佐伯区海老園 1-4-5 佐伯区役所別館5階（佐伯区社会福祉協議会内） ☎082-943-8797

※本部：統括 082-264-6405（〒732-0822 南区松原町 5-1 BIGFRONT ひろしま 6階 広島市社会福祉協議会内）

※FAX、E-mailは各センター共通 FAX：082-264-6413 E-mail：kurasapo@shakyohiroshima-city.or.jp

※相談員が訪問等で不在にしている場合があります。来所での相談の場合は、事前にご連絡をお願いします。

## 被災者・被災地支援の現状について ～平成30年7月豪雨災害～

災害発生から、3月で約8か月を迎えます。災害発生当初、4区社会福祉協議会で立ち上がった災害ボランティアセンターも、皆さまの多大なるご支援のおかげで11月末の安芸区災害ボランティアセンター閉所をもって全ての区で閉所となりました。

現在は、社協の通常業務の中で被災された方のお宅への訪問や地域の復興に向けた支援を継続して行っています。

4区全ての災害ボランティアセンター閉所に伴い、広島市災害ボランティア本部についても12月21日をもって閉所しました。

また、これまで多くの方に支援金や支援物資という形でご支援いただきました。支援金については、災害ボランティアセンター活動のための資器材の調達やボランティアの被災地

への輸送経費等にあってさせていただき、支援物資についても、被災者支援に活用させていただきました。ありがとうございました。

これまで行ってきた被災者支援を通して、改めて平時からの人と人とのつながりや備えの大切さを痛感しました。

現在は、災害発生に向けた平時からの備えの1つとして、災害発生初動期の早急な資器材運搬を可能にするため、安佐北区スポーツセンターへ資器材保管倉庫の設置を進めており、これからも、災害発生時に早期に対応できる体制づくりを行っていきます。

この記事に関する  
問い合わせ先

ボランティア情報センター

TEL: 082-264-6408 FAX: 082-264-6416

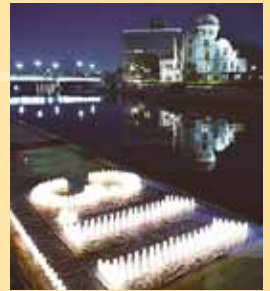


## 3.11 東日本大震災を忘れない追悼の集い広島

東日本大震災による約2万人の犠牲者を悼む追悼の集いを開催いたします。平和記念公園から被災地に向けて哀悼の意を届け、永遠に震災の記憶を風化させないために行います。発災の翌年の平成24年から毎年実施しています。被災地・被災者に心を寄せる多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

- 日時** 平成31年3月11日(月) 17時30分～19時30分
- 場所** 平和記念公園・元安川 親水テラス
- 内容** ●3.11 キャンドルの点火 ●3.11 キャンドルを囲み「黙祷」

昨年のキャンドル点灯風景▶



【この記事に関する問い合わせ先】 ボランティア情報センター TEL: 082-264-6408 FAX: 082-264-6416

### 福祉に関する新たな発想や活動を応援します!

## 平成31年度 ひろしまの地域福祉推進“チャレンジ応援”助成事業

広島市社会福祉協議会(以下、市社協)では、福祉に関する新しい取組や活動にチャレンジしようとする団体に対し、平成31年度も助成事業を行います。

この助成事業は、社会の変化によって生み出された様々な地域課題を、これまでにない、新しい発想や活動で解決しようとしている団体への助成であり、助成金の交付後も市社協が継続的に関わり、団体と市社協と一緒に広島市域の福祉向上を目指すことを目的としています。

「団体の立上げはこれから」という場合にも応募が可能です。ぜひ一緒にチャレンジし、アイデアを形にしてみませんか。

#### A 部門: 団体・活動の立上げ応援部門

新たな発想や視点を持ち、市社協とともに団体の立上げや活動の基盤整備を目指すための部門です(これからの設立、もしくは設立後、概ね3年以内の団体に限ります。)

#### B 部門: 先駆的・開発的取組の波及応援部門

独自のアイデアで先駆的・開発的な取組をしようとしており、市社協とともに活動の波及を目指す団体のための部門です。

応募書類は市・区社協などに設置しています。また、市社協HPからもダウンロードできます。

募集期間: 平成31年4月1日(月)～4月26日(金) ※必着

この記事に関する問い合わせ先▶ 地域福祉推進課 地域福祉係 TEL: 082-264-6403 FAX: 082-264-6413

## 3月18日は “点字ブロックの日”

目の不自由な方々の歩行を支える「点字ブロック」は、日本で考案され現在では多くの国で活用されています。

当日は広島市視覚障害者グループ連絡会のみなさんと広島駅など9ヵ所で啓発活動を行います。点字ブロックは重要な情報源です。点字ブロックの上に自転車や物を置かないでください。ご理解、ご協力、よろしくお願いします。

この記事に関する問い合わせ先▶ 地域福祉推進課 地域福祉係 TEL: 082-264-6403 FAX: 082-264-6413

## 介護予防・日常生活支援総合事業 実施団体の募集説明会を開催します

本会では「介護予防・日常生活支援総合事業」(総合事業)を広島市から受託し、地域住民やボランティアなどによる簡易な生活支援や集いの場の取組に補助・活動支援等を行っています。

このたび、2019年度の実施団体の募集説明会を開催します。

募集は、2019年度に次の活動を行う住民主体の地域団体です。

- ① 住民主体型生活支援訪問サービス(市社協通信第66号掲載)
- ② 地域高齢者交流サロン活動
- ③ 地域介護予防拠点活動

※説明会に参加頂けない場合でも、応募は可能です。

#### ●募集説明会日時

説明会への申込みは不要です。できるだけ公共交通機関を利用してお越しください。

日時	開始時間	会場・所在地
3月15日(金)	9時半～	広島市総合福祉センター 広島市南区松原町5番1号 BIGFRONTひろしま 5階ホール

#### ●対象

- ① 高齢者の自宅を訪問し、簡易な生活支援を行う町内会等の多様な地域団体
- ② 地域団体が実施している「ふれあい・いきいきサロン」などを活用し、高齢者の誰もが参加でき、介護予防のための「通いの場」を運営す

る団体で、月1～2回以上定期的に開催し、おおむね10人程度の参加者がいるサロンを開催している団体

- ③②に該当し、かつ週1回(1回あたり30分以上)以上、「いきいき百歳体操」など全身の筋力アップを図る運動を中心とした介護予防に取り組む団体

#### ●補助金額

- ① 運営費10万円(限度額)、ボランティアコーディネーターへの謝礼金1日あたり1,000円(限度額)
- ② 運営費5万円(限度額)

- ③(②の運営費5万円に加えて) 運営費5万円(限度額)

※全て広島市の2019年度予算成立後に交付決定します。

#### ●募集期間

- ① 第1次募集 2019年4月1日(月)～4月26日(金)
- ※第2次募集 2019年7月1日(月)～7月31日(水)
- ※第3次募集 2019年10月1日(火)～10月31日(木)
- ※募集団体数に達した場合、追加募集は行いません。
- ②③ 2019年4月1日(月)～4月26日(金)

応募していただいた場合でも、選考の結果、不選定となる可能性もあります。

この記事に関する問い合わせ先▶ 地域福祉推進課 地域福祉係 TEL: 082-264-6403 FAX: 082-264-6413

## 共同募金へのご協力ありがとうございます。

赤い羽根共同募金運動は、戦後間もない昭和22年に市民が主体の「国民たすけあい運動」として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援を行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されています。

これまで、共同募金運動にお寄せいただいた市民の皆さま・関係機関・施設団体等の皆さまから賜りました格別のご厚情に対して、深く感謝申し上げます。

さて、本年度も全国統一スローガン「じぶんの町を良くするしくみ。」の下、その実現に向けて募金目標額を1億円に設定し、募金運動を展開いたしましたところ、平成31年2月15日現在で募金額81,360,948円の募金協力をいただきました。

お寄せいただきました募金は、皆さまのお住まいの地域の身近な福祉活動や、様々な福祉課題に取り組むボランティア活動など、地域に密着した事業に活用させていただきます。

今後とも、赤い羽根共同募金への皆さまのご支援とご協力を、お願い申し上げます。



問い合わせ先 **広島市共同募金委員会**

TEL 264-6400 FAX 264-6437  
〒732-0822 広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま6階  
広島市総合福祉センター内

## まごころ銀行へのご協力ありがとうございます。

本会まごころ銀行に、次の皆さまから尊いご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。

【平成30年4月1日～12月20日(敬称略・順不同)】

### ●一般寄附者

島本 登夫/鮎川 邦彦/林 俊之  
㈱リアフレール/そごう・西武労働組合 広島支部  
宗教法人 真如苑

### ●物品預託者

【よしもとゲバント劇場公演チケット】中心市街地にぎわい創出推進協議会

【車いす】㈱ツルハホールディングス/全国鐵構工業青年部連合会/フジモトホールディングス㈱

【食品等】(公財)中国地域創造研究センター

皆さまからお寄せいただいた浄財は、高齢者・児童・障害者の福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。

### ◆この記事に関する問い合わせ先◆

【総務課】TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

## 社会福祉法人 広島市社会福祉協議会賛助会員を募集しています

本会の活動にご賛同いただき、「賛助会員」としてあなた(貴社・団体・個人)も地域活動に参加してみませんか。納めていただいた賛助会費は、身近な地域で福祉のまちづくりを進める地区(学区)社会福祉協議会の活動等で使わせていただきます。

**賛助会費** 法人 1口 10,000円 個人 1口 1,000円

※ 口数は何口でも結構です。

※ 本会は社会福祉法人ですので、個人の場合は「寄付金控除」「住民税税額控除」、法人の場合は「法人税法上の損金算入」ができます。

### 賛助会員へのご協力ありがとうございます

次の方々からお申込みいただきました。

【平成30年4月1日～12月14日(敬称略・順不同)】

#### 法人 99件 165口

OD倶楽部、(弁)広島みらい法律事務所、広島南口開発㈱、(一社)社労士成年後見センター広島、ゼネラル興産㈱、㈱やまび、(医)沖本眼科、補助タクシー㈱、キョーリツ コーポレーション㈱、有信㈱、(医)いでした内科・神経内科クリニック、みどり安全㈱広島支店、㈱インパルスコーポレーション、(医)和同会広島シーサイド病院、(医)正岡病院、㈱桐原容器工業所、広島パイロットクラブ、㈱榎屋、サマーエンジニアリング㈱、東洋観光㈱、広島市流通センター㈱、(医)比治山病院、(学)石田学園、西日本オフィスメーション㈱、広島修道大学総合企画課、(協組)広島総合卸センター、広島市西部団地組合連合会、広島総合警備保障㈱、㈱大方工業所、(一財)中国電気保安協会、(医)翠星会松田病院、㈱Taisei、㈱日本旅行広島支店、その他66件

#### 個人 1,769人 2,807口

小泉 桂子、長 敏伸、石田 芳文、北吉 孝行、倉石 雅基、益原 知子、黒木 正之、尾崎 康、小合 均、荒川 宣昭、西川 学、矢野 大介、沖元 英典、村井 元治、三村 義雄、寺本 公彦、川本 裕幸、高木 俊一、福本 正裕、奥野 博文、木下 保裕、河上 重治、平井 聡浩、田中 秀樹、榎田昌二郎、中原 正道、細田 民子、黒川妃佐代、高野しおり、峯下 直美、梶山 義昭、森 玲子、今田 健、米江 勝彦、行廣 真明、勢川 幹、丹羽 浩之、勝田 博文、稲田 照彰、安永 大介、河本 秀明、貞森 英樹、林 雅弘、若林 健祐、及川 享、金光 義雅、加賀谷哲郎、木村 滋宏、山藤 貞浩、水口 直也、野間 圭介、裕二、岩崎 学、重水 靖彦、中谷満美子、三原 正弘、松井 裕憲、大原 秀朗、高村 省三、田中 良典、岡崎 智博、岡谷 光展、秋田 耕志、田中 辰成、天野 博司、荒木 清希、浦川 知己、島津 邦也、福岡 美鈴、宮本 俊之、守弥、松原 繁、尾形 昌克、相川 悟司、和泉 秀夫、松脇 守弥、中山 由可、芝山潤一郎、片山 大右、清水 克宏、永井 勝郎、岡本 一郎、佐藤真実子、国重 俊彦、住田 雄二、藤本 恵、原田 忠則、重森 雅樹、檜山 枝美、木下 健一、相垣 秀和、岡本 洋平、岩本 和貴、谷田 邦子、片平 靖、藏田 健博、清水 貴司、古川 智之、谷 康宣、児高 静博、瀧本 正之、藤井 伸朗、尾田 達史、八木 真理、中村 一彦、八木 孝裕、橋場 聡子、秋山 美帆、嘉村慎二郎、皆川 英明、芦崎真由美、中村 浩平、坂田 博幸、白石 一行、石津 敏之、船田 雅嗣、久岡 桂子、坂本 裕敬、奥田憲一郎、上田久仁子、原之園和弘、

大片美保子、柚崎 正生、林 宗男、金川 勉、正木 和彦、  
玉木 雅人、保里 昭浩、原田 康宏、吉村 俊一、橋本 裕治、  
広中 康雄、森田 雅彦、谷本 睦志、梶田 亨、堂免 直樹、  
森 直樹、高橋 秀昌、三宅 徹、匿名 公彦、小島 清資、  
正林 一彦、中司 博之、筒井 恵淳、絹谷 徹、葛籠 直人、  
恩地 孝明、建部 賢次、三村 千秋、福岡 幹人、河田 ゆみ、  
糸山 隆、安藤 桂、角 雄二、金村 成義、村上 早苗、  
細田 益啓、岩木 康生、尼野 達也、陶山 融、木島 正史、  
浅尾 浩哉、満岡 隆、新川 恵美、野澤 久美、小田 啓史、  
鈴木 敬司、榎野 浜子、広元由佳里、山本 将矢、北山 孝文、  
遠山 郁也、大下 武彦、川本 敏敏、松原千奈美、土師 純伸、  
金谷 秀弘、藤川 秀治、山中 晴詞、藤村 翠、滝村 善之、  
宇佐川 正和、内田 達也、寺西 雅弘、小松 隆博、岡崎 善文、  
村井 康敏、村井 芳弘、原田 利博、佐々木英三、影本 正之、  
松村 司、西本 和弘、矢島 泰造、西川公一郎、平岡 重宏、  
土井 圭太、中原 康、三島 英男、柳 義信、内奈 勝治、  
田原 範朗、夏明 秀嗣、宮迫 純一、宮本 誠、塩満 和弘、  
福島 達徳、伊藤 一司、岩田 勇治、谷川 晃、浜本 克己、  
三浦 義之、山村 健一、小林 伸行、新田千佳子、宗光 淳志、  
宮崎 淳、隆杉 里子、澤井マユミ、山田 隆弘、岡田 清恵、  
小崎 輝江、古太刀 勲、尾関 弘、坪内 隆彦、村上 邦子、  
加藤 睦治、楠橋 千鶴、茶園 隆司、萩原 融、村上 和敬、  
笹田 清浩、中高下博次、木下 千恵、山本 正己、松出 由美、  
久保 智敬、大塚 由美、黒本 英作、荒木 紀雄、山根準一郎、  
岩見 正俊、中村 邦恵、黒本 逸夫、丸山 靖子、石黒 友男、  
小林 幸子、中村 雅俊、石田真佐美、山田 直子、永石 雷太、  
平川 琴恵、熊野 淳子、大瀬 珠実、三上 朝光、藤井 翔、  
並川 聡之、田中 澹村、志保、龍彦、藤本 玲子、伊藤 和美、  
中田恵理子、中西 愛花、菅岡 優子、重村 隆彦、川谷 卓哉、  
志賀 賢治、上口 雅彦、叶 真幹、幾田 貞利、大田 恒二、  
河野 陽子、中塩 玲、東 千穂子、太田 晴美、高野 友美、  
丹 孝子、光廣 礼二、滝川 卓男、森川 伸江、上貞 玲賜、  
澤岡 澄子、金田 美幸、高橋 純子、三宅実恵子、加登 直子、  
鍵本 美江、坂本真由美、上田 昌子、紙田真由美、宮岡 陽子、  
福田 秀子、藤原 恵子、立石ゆかり、浜岡 恵美、宮本 織恵、  
山根 聖子、鍋沢 恵月、舩金 幸江、横田小百合、岡崎 史恵、  
植永 充子、佐藤 幸枝、土屋 直子、横山 賢治、信末 一之、  
倉本 喜文、成松 隆雄、石倉 寿也、原田 和秋、小笹山秀夫、  
武枝 靖、加藤 義明、守田 貞夫、岡本 茂信、浜井 妙子、  
岡岡 秀夫、神田 尚、熊野 義夫、南 直子、道下 真穂、  
若林 聖、井筒 敦子、作間 和恵、岩本 弥和、木村みゆき、  
井上ひろみ、二川さゆみ、増田恵利子、野上 朋子、井上 尚子、  
江村美紀子、金子 忍、川崎 文子、今井 浩子、坂本 玲子、  
國村 祐子、山根 真美、山本 哲生、岡村 将宏、松前 和雄、  
岡峰テイ子、その他1,428人

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。これからも、地域福祉を推進する本会をご理解いただき、様々な地域活動に積極的に参加していただくとともに、今年度も引き続き、賛助会員としてご支援をお願いいたします。

### ◆この記事に関する問い合わせ先◆

総務課 TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437